



Title	平成4年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 1993, 20, p. 15-16
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24017
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成 4 年度事業報告

(財)大阪癌研究会

1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から35名の応募者があった。

一般学術研究助成選衡委員会（委員長豊島久真男—大阪大学教授他4委員で構成）で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は別紙のとおり12名であった。

2. 学術講演会について

平成4年10月17日豊中市・千里ライフセンターに於いて、大腸がん集団検診について専門医の講演会と参加された各府県市町村の保健衛生関係者との談話会を実施した。

3. 乳がん検診について

乳がん集団検診では吹田、豊中、池田、箕面、茨木、摂津、大東、松原、藤井寺、羽曳野、豊能、八尾、の12市町の住民の方々及び松原、摂津、吹田、茨木、門真の市教職員について行い総受検者数11,108名、要精検者数355名でそのうち乳がんと判ったのは13名（平成5年2月末現在）であった。

4. 大腸がん検診について

便潜血反応検査による大腸がん集団検診については大阪商工会議所、大阪対がん協会、衛生婦人団体、社会福祉協会及び茨木、大東、河南、高石、摂津の5市町の方々及び個人の方々について行い総受検者数11,460名、要精検者数479名のうち、大腸がんと判ったのは28名（平成5年2月末現在）であった。

5. がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌19号を刊行し配布した。また、「乳がんの自己診断のすすめ」及び「大腸がん検診のすすめ」等のパンフレットを発行した。

平成4年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏 名	所 属 機 関	研 究 テ ー マ
小 阪 美津子	大阪大学微生物病研究所	胚性癌腫細胞の自己増殖から分化決定への切り換え機構の解明
的 崎 尚	神戸大学医学部 第 2 内 科	胃粘膜及び胃癌組織に発現する新しいチロシンフォスファターゼ(PTPase)の遺伝子クローニング
西 田 淳 二	自治医科大学	成人T細胞性白血病細胞における転写調節異常と癌遺伝子の研究
宮 崎 純 一	東京大学医学部	NODマウスにおけるインスリノーマの誘導とその解析
中 森 正 二	大阪府立成人病センター外科	大腸癌転移に関与する糖鎖分子の研究
河 敬 世	大阪府立母子保健総合医療センター小児内科	造血器腫瘍のLineage診断とその臨床的意義
仁 木 賢	東北大学医学部細菌学教室	Invito転写系を用いたHTLV-I p40 ^{tax} の機能解析
安 川 正 貴	愛媛大学医学部第1内科	成人T細胞性白血病発症におけるヒトヘルペスウイルス6型および7型の関与
杉 山 俊 博	秋田大学医学部生化学1講座	銅代謝異常と肝癌発生について
須 川 典 亮	京都府立医科大学脳神経外科	Epidermal growth factor receptor antisense oligodeoxyribonucleotidesを用いた悪性脳腫瘍に対する遺伝子治療に関する研究
七 條 茂 樹	久留米大学医学部免疫学講座	新しい分子免疫学的手法によるヒト癌特異的T細胞サブセット(ヘルパー、キラー及びサブレッサーT細胞)の同定及び抗原レセプター遺伝子の解明
螺 良 愛 郎	関西医科大学病理学教室	ヒト乳癌発生におよぼすプロラクチンの影響